



幹本申
1号

JR東労組新幹線協議会「第2回定期委員会」発言に
基づく申し入れ団体交渉を行う！

【議論の特徴点は以下の通りです】

第1項 新型コロナウイルス感染防止のための対応及び対策を明らかにすること。また、社員が安全に業務を行える体制を構築すること。

- ・収束の見えない中で、安全・安定輸送を確保していることに感謝している。
- ・不安解消のためにマスクの着用、手洗い、消毒をしてきた。企画部門ではオフピーク通勤、テレワークを取り組み、現業機関では自宅待機とできる箇所ではテレワークを行ってきた。
- ・自治体と連携して対策に取り組むこともあるが、自治体によって対応が異なることもある。統括本部で一律の対応にならないこともあるが、エリアの支社と統一性を持っていく。
- ・社員だけではなく、家族の安心も含めて思いを馳せる必要がある。

除菌対応をする人の安全を守ることが前提であることは認識一致

第2項 乗務員職場における本体エルダー社員の雇用の現状を明らかにすること。また、本人希望を尊重すること。

- ・本体エルダーの希望者は乗務員が多いと認識しているが、設備・電気・車両に比べると乗務エルダーは少ないのが現状である。
- ・エルダー先の提示についてはこれまでと取り扱いが変わるものではない。提示が遅いという指摘について、スケジュール感は認識している。
- ・出向先についても、エリアと職種を第3希望まで把握している。どこがマッチするか考えていく。

第3項 組合員・社員が働きやすい環境をつくり出すために、仙台駅ホーム乗り継ぎ詰所の設備を以下の通り改善すること。

①上りホーム東京方及び下りホーム盛岡方に給湯設備を設置すること。

- ・新幹線統括本部が設置されたことによって財源の確保ができた。
- ・設備要求は以前からあり、現地の確認を行っている。東京新幹線車両センターの構内に大きな工事が不要な温水設備を取り付けた。仙台についても流し台を整理すれば設置できると考える。各系統と検討していきたい。
- ・今後も引き続き要求はしてもらいたい。

②下りホーム盛岡方に女性用トイレを設置すること。

- ・女性が仙台下りホームの休憩室から中央改札内のお客さま用トイレを使用していることは承知している。
- ・トイレは最低限の設備だと認識している。今後、設備計画を立てていく。

設備を整備した上で配属することを基本とするべきだ

第4項 睡眠の質を向上するために、那須塩原電留線の休養室建物内の防音対策を行うこと。

- ・設備は大宮支社の管轄であるため、依頼し対応している。具体的に対応した箇所を把握していないが、議論をして、改善の余地はあると感じる。引き続き大宮支社と検討していきたい。
- ・この箇所に限らず現地に足を運び、現状把握をしていきたい。

睡眠の質を向上させることが必要だ

ウィズコロナ・アフターコロナ社会においても、新幹線職場の組合員が安心して働きがいある職場環境となるよう職場から議論をつくり出そう！